

一 般 質 問 通 告 表

平成26年第1回始良市議会定例会（2月26日（水） 午前9時開会）

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|----------|-----------------------------|--|-------------|
| 1. 里山 和子 | 1. 小中学校の普通教室にクーラーの設置を！ | <p>これまでも何回かとりあげてきたが、鹿児島県の夏は暑いというのに、桜島の降灰の回数も増えてきており、蒸し風呂のような教室で子供たちは学習している。</p> <p>地震や津波、桜島の大爆発の際、市内の小中学校は避難所にもなるが、冷暖房設備はその時も大いに役立つと思う。</p> <p>重富中学校で生徒の皆さんに「クーラーをつけて下さいね」と言われた言葉を忘れることができない。降灰の影響がひどい学校から順次クーラーを設置することはできないか問う。</p> | 市長 教育委員長 |
| | 2. 松原地域にも循環バスを走らせ帖佐駅南側にも駅舎を | <p>松原地域に住むある高齢の女性は、鹿児島県に行くのに、タクシーで始良駅まで行き、電車に乗られるということである。</p> <p>年をとると足腰が弱くなり、ちょっとした距離でも歩けないということである。</p> <p>帖佐駅南側にも簡単な駅舎を設置したり、松原地域にも循環バスを走らせて欲しいと訴えられた。これからますます高齢化に向かう中、県内1安心安全なまちをつくる為にも実現できないか。</p> | 市長 |
| | 3. はり・きゅう利用券の補助をもっと増やして！ | <p>はり・きゅう利用券の補助は、温泉利用券の補助と比べ、申請者も利用率も約半分位と少ない状況である。</p> <p>鹿児島県では1回 1,100 円の補助で</p> | 市長 |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|-----------------|--|--|---------------------|
| | <p>4. 総合福祉センター（温水プール付）の建設を市民は望んでいるが、検討したらどうか</p> | <p>60 回分を支給している。（66,000 円）始良市では1枚200円券で24枚補助している。（4,800円）対象者の約1/3が申請し、利用率は約30%弱である。高齢者は足腰の悪い人が多く悩みをかかえている人は多いと思う。</p> <p>はり・きゅう施術の効能をもっと研究し、補助金を使いやすい額に増やすことは、高齢者や障害者の健康づくりにかかせないと考えるがどうか。</p> <p>始良市でも少子高齢化が進み市民の健康づくりは重要な課題となっている。医療費や介護給付費をおさえるためにも力を入れないといけない。体重を減らす為にもプールで泳ぎたい、歩きたいと要望する市民は多いが、毎月多額の費用を払って民間の施設に通う余裕はない。その他走ったり歩いたり、自転車こぎをしたり、色々なマシンも使って健康づくりのできる総合福祉センターの建設を市民は望んでいるが、聞こえてくるのは火葬場とか、庁舎建設の話ばかりである。</p> <p>火葬場や庁舎は急いで建設する必要はないと思うがどうか。</p> <p>火葬場は展望の開けた場所が必要だし、庁舎は職員も減っているので急いで建設の必要はなし。今の庁舎で充分である。（道州制になったら大きな庁舎はムダになる）</p> <p>市民が今すぐ必要としている健康づくりにかかせない総合福祉センターを検討し、福祉、医療、介護、子育ての核となるよう計画したらどうか。</p> | <p>市長</p> |
| <p>2. 森川 和美</p> | <p>1. 松原なぎさ小学校及び給食室別棟建</p> | <p>（1）両建設工事の進捗状況は順調に進んでいるか。</p> | <p>市長 教育委員長</p> |

| 氏名 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|----|--|---|-------------------------------|
| | <p>設について</p> <p>2. 職員の天下りについて</p> <p>3. 空き家、空き店舗対策について</p> <p>4. 過去に質問した項目についてどのように検討したか</p> | <p>(2) 松原なぎさ小学校周辺は、住宅が多く建ち並んでおり、給食室別棟の工事現場の目前には保育園があるが、周辺の環境に適切に配慮しているか。</p> <p>近年職員OBの天下り及び中途退職者が、社会福祉事業所や外郭団体に天下っている状況をどのように感ずるか。</p> <p>(1) 空き家対策としては、平成25年12月、本市と宅建協会及び不動産協会が物件仲介で協定締結し、空き家バンク制度を平成26年4月に運用開始するとの事であるが、空き家の撤去促進策等の課題が発生する。宅建協会、不動産協会、法律専門家、大学の教授さらに空き家・空き店舗活用プロジェクトチームを編成して解決していく必要があるのではないか。</p> <p>活用としては、サークルやボランティア団体の活動拠点。</p> <p>夢のアトリエや工房、友達同志で交代でマスターをする喫茶店、土、日曜だけ営業する趣味の店等々である。</p> <p>(2) 空き家等の適正管理に関する条例を早急に設置すべきではないか。</p> <p>(1) 待機児童の受け皿となっている認可外保育所事業者へ年間20万円、預ける保護者への10万円助成の件は、どう検討したか。</p> <p>4月からの消費税率引き上げに伴って、収入を増やして家計をカバーしようとする心理から、働く主婦が増えると予想される。認可外保育所、企業内保育所への手厚い助成がますます必要ではないか。</p> <p>(2) 公共交通不便地域解消の件、特</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|-----------|-------------------|--|-------|
| | 5. 将来の本庁舎建設について | <p>に世帯、人口、高齢者の多い JR 以南地域について。</p> <p>(3) 小規模自治会合併促進についての件。</p> <p>将来の本庁舎建設についての方向性。位置、規模、年度、かかる経費あわせて加治木、始良、蒲生3総合支所についてもこの際、方向性を問う。</p> | 市長 |
| 3 . 湯元 秀誠 | 1. 国際、国内交流は民間レベルで | <p>韓国の芸術高校と蒲生の子どもたち、そして合併して始良市の子どもたちの交流が始まって20年が経過して多くの子どもたちが韓国を訪れ、韓国の生徒が、どんと秋祭りに参加し、ホームステイをしての交流が続いてきている。</p> <p>この子ども交流のきっかけは、からいも交流から始まり、韓国の学生と蒲生郷太鼓坊主のメンバーが、韓国で太鼓演奏をする約束から始まったことである。</p> <p>隣国と言え当時国内では民間レベルでの交流はほとんどなく、様々なルートを模索しながら日本の民間人として小さな交流の糸口を初めて開いた偉業と言われ、国内で高く評価されている。</p> <p>毎年、夏には始良市の子どもたちが韓国の芸術高校の生徒たちとホームステイを通じ交流を深め、昨年の、どんと秋祭りには例年のおり芸術高校生も参加して多くの人達との交流が続き、互いの子どもたちの国際感覚を養うのに、ふさわしい交流となっている。</p> <p>(1) 市長も昨年の夏に、子ども交流に韓国へ同行されたようであるが、その目的は何か。</p> <p>また、なにか問題が発生しているのか。</p> <p>同行の要請があったのか。</p> <p>(2) 今日まで、この交流は民間での</p> | 市長 |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|-----|---------|---|-------|
| | | <p>交流に徹してきており、様々の国際問題に左右されずに今日まで続いてきている。真の子ども交流なら教育関係者の同行なら分かる。</p> <p>市長や行政側がなぜ関与しなくてはならないのか市民の方々には予算の無駄遣いとしてしか理解できないのではないのか。</p> <p>行政側から誰が同行し、その行程と予算措置の説明を求む。</p> <p>(3) 現在、始良市が関与する姉妹盟約等を含め、官民の国際、国内交流の事業の実態を示せ。</p> <p>また、その予算措置の説明を求む。</p> <p>(4) 国際交流の必要性はそこから市民が何を学ぶか。そこから郷土愛が育まれ、国際感覚が培われるものと理解する。それぞれ経緯や目的が異なることは理解するが行政は執行側で関与するのでなく、黒子に徹して、交流を支援すべき立場が望ましいと考える。すべての交流を検証し、市民に示して交流活動の充実を図るべきと考える。見解を問う。</p> <p>(5) 一昨年の東海地区の始良会が発足して、大変喜ばしいことである。その発足には加治木高校、加治木工業高校の同窓会を中心に進められ発足に至り、また始良市側からの主導的協力があったと感謝の言葉をいただいた。</p> <p>以前からの東海蒲生会のことについては、どのような協議がなされたのか。岐阜、愛知は集団就職で行かれた方々が多い地域である。その方々が今日までふるさとはひとつ、と支えあい、励ましあってこられたのである。蒲生会からの出席者が見られず残念であった。経緯を示せ。</p> <p>また、ここで要した予算措置も問う。</p> | |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|---------|--|---|---------------------|
| | 2. イベントは市民参加の民間主導で | <p>(1) 始良市の夏祭りは、旧町の商工会の主導で取られ、市民の楽しみとして、合併してもそれぞれに実施されてきたが、商工会の合併で今後の検討はなされているか。</p> <p>(2) 秋祭りも名称の違いはあるが、旧町でそれぞれ実施されている。市の予算措置はどうなっているか。</p> <p>(3) 実行委員会があるにせよ、行政の丸抱えでなされている祭りではないかと思えるイベントもあるようである。予算措置はどうなっているか。</p> <p>また、検証はなされたことがあるか。</p> <p>(4) 秋祭りなどは農・商・工の方々が、市民の方々に直接触れて理解を深めてもらい、PRする場としての目的ではないかと考える。民間主導の取り組みを今後どのように推進していくかを問う。</p> | 市長 |
| 4. 堀 広子 | <p>1. 岩原線の道路改修について</p> <p>2. 小山田農産加工センターの作業場改修について</p> | <p>岩原線の公民館前は、雨が降ると道路に水溜まりができる。車が通ると歩道にまで水が跳ねる。</p> <p>子どもたちの通学路でもあり、早急な改修を求めるがどうか。</p> <p>小山田農産加工センターの作業場は、排水の流れが悪いため、作業時の排水が溜まりやすく不衛生である。</p> <p>また、流れをよくするために床を削った切り口から、コンクリートと床表面が浸食され、段差ができており、つまずきやすく危険である。</p> <p>衛生と安全の確保のため、改修を求めるがどうか。</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|----------|--|--|---------------------|
| | 3. 労務単価引き上げにともなう市の指導と対応について | <p>国土交通省は、建設業の人手不足や人件費の高騰を踏まえて、2月から労務単価を7.1%引き上げた。</p> <p>建設業の労働環境を改善し、若年層の就職を促すために、社会保険に加入していない企業を入札から排除することも検討されている。</p> <p>労務単価の引き上げが、現場で働く労働者に確実に反映されるよう、発注元である市のきめ細やかな指導と対応が求められている。</p> <p>(1) 去年の15.1%引き上げは、現場の労働者に適切に反映されているか。</p> <p>(2) 今回の引き上げが確実に反映されるためにどのような指導を行うのか。</p> <p>(3) 現場労働者の賃上げに反映されていない場合はどのように対応する考えか。</p> | 市長 |
| 5. 神村 次郎 | <p>1. 始良市臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定について</p> <p>2. 始良子ども子育て</p> | <p>自治体の臨時・非常勤職員は現在3人に1人となり、全国では約70万人にのぼる。それらの職員の多くは200万円以下であるため、官製ワーキング・プアともいわれている。これらの職員は雇い止めに不安を感じながら日々業務にあたっている。</p> <p>始良市における臨時・非常勤職員について問う。</p> <p>(1) 現在、始良市には何人の臨時・非常勤職員がいるか。職種・職域別にはどのようなになっているか。</p> <p>(2) 臨時・非常勤職員にも通勤手当を正規職員に準じて支給できないか。</p> <p>人口が減少するなかで、地方での保</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> |

| 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 質問の相手 |
|-----|------------------|--|-------|
| | <p>て会議条例について</p> | <p>育の不備を社会や政治問題として捉える子育て世代が増えている。そのような声を十分に生かし今後の、子育て支援策として生かしたいものである。</p> <p>始良市子ども子育て会議が設置されることとなるが、次のことについて問う。</p> <p>(1) 子育て会議委員のメンバーは</p> <p>(2) 子どもの保護者、放課後児童クラブ関係者、子育て世代の雇用環境も大きな現代社会の課題である、労働者代表の委員もメンバーとすべきではないか。</p> | |